

# ようこそロータリーへ

## 新会員へのオリエンテーション

知っておきたいロータリー情報



国際ロータリー第2550地区 日本 栃木  
ロータリー情報・IT 推進委員会

## 1. ロータリーとは

ロータリーは、友好と奉仕を志す人々の世界的な団体で「奉仕の理想」を信条とし、会員は職業を異にする善良な成人で形成され、各種の職業から代表として選び、それぞれの地域にロータリー・クラブを結成し奉仕活動を展開しています。

「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度な道徳的水準を守ることがを奨励し、且つ、世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業及び専門職に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

上記の 100 文字は、ロータリー・クラブというのは何ですか？と尋ねられた時の価値ある言葉です。

## 2. ロータリーの誕生

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳は地に落ち、人心は荒み、犯罪は巷に満ちていました。

ちょうどその頃、青年弁護士ポール・ハリスは、この風潮に堪えかねて、友人 3 人と語らって、「お互いが信頼ある取引ができ、仕事上の付き合いがそのまま親友関係に発展するような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリー・クラブという会合を考えました。

ロータリーとは、会合を各会員の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして 1905 年 2 月 23 日にシカゴ・ロータリー・クラブが誕生しました。

今では、世界 166 カ国の地域に広がり地域数 529・クラブ数 31,603・会員数約 1,211,723 名になりました。(2004 年 6 月)

## 3. ロータリーの柱

### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹し、育成することである。

第 1 . 奉仕の機会として知り合いを広めること ;

第 2 . 事業及び専門職務の道徳的水準を高めること ; あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること ; そして、ロータリアン各自が、業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること ;

第 3 . ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること ;

第 4 . 奉仕の理想に結ばれた、事業とその専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と平和を推進すること。

すなわち、ロータリーの目的は；  
広く知り合いを求めて、奉仕の機会を多く持つ  
各自の職業に誇りを持って、その道徳的基準を高める  
公私の別なく、奉仕の理想を実行する  
理解と友情を国際的にも広める

#### ロータリーの標語

各クラブの認証状の上部に記載されています。

第1標語 「超我の奉仕」 **Service Above Self**

第2標語 「最もよく奉仕する者は最も多く報われる」

**They Profit Most Who Serve Best**(2004-2005年度規定審議会 制定案04-271)

この二つのモットーは、1950年に公式に採択されました。

## 4. 日本のロータリー

日本での最初のロータリー・クラブは、1920年10月20日の創立された東京ロータリー・クラブで、1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。創立の準備に奔走されました米山梅吉・福島喜三次の先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第二次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。しかし、戦時下にあってもその精神と組織は失われず、名称を変え例会は続けられ、戦後の平和回復と共に、国際復帰を目指す努力が実って、1949年3月に東京・大阪をはじめ7つのクラブが国際ロータリー復帰を認められました。

現在では、34地区・クラブ数2,333・会員数も106,507名(女性会員は、3096名)におよびます。これは、アメリカに次いで世界第2位であります。(2004年6月)

## 5. ロータリー・クラブの会員

現会員の推薦により、所定の手続きを経てクラブ理事会の承認を得て決定します。最後にクラブ会員全員に通知を出して入会の賛否を問います。もし1名でも反対投票がありますと、さらに理事会を開きまして協議いたします。ですから貴方は、クラブ会員全ての賛成を得て正会員になれたわけです。

#### 入会までの手続き

正式には、ロータリーでは会員選挙の手続きといわれています。正会員の手続きは次の順序で行われます。ただし、各クラブ細則の定めにより多少異なる場合があります。

正会員または会員増強委員会より会員推薦書類を幹事が受付け、幹事は理事会に提出。

理事会にて受理された会員推薦書は、まず職業分類委員会で職業分類の審査を受け、職業分類上問題がなければ、理事会は会員選考委員会へ送ります。資格条件の審査を受け、再び理事会に回されます。

理事会は二つの委員会の審査報告を受け、理事会にて協議します。その協議事項は未公開となります。

理事会で承認されれば、推薦者とロータリー情報委員は非推薦者を訪問し、ロータリーの目的・会員の特典・義務の説明等のロータリー・インフォメーションを行い、クラブに発表の承諾を求めます。この段階で不承諾の場合は、その旨推薦者に知らせます。

クラブ会員に通知後7日以内にクラブ会員から書面にて異議申し立てがなかった場合は、承認となります。入会金を納めることにより正会員となり(若い人の入会を奨励するため、クラブは35歳以下の会費および入会金を免除することができる；2002年6月理事会)幹事は会員証を発行し、RI事務総長に報告します。会員からの異議申し立てがあった場合は、再度理事会にて協議し決定します。

当該会員は、クラブ例会にて、新会員として紹介されます。

### 正会員と名誉会員

正会員 (Active Member) : 善良な成人であり、職業上良い世評を受けている正会員によって構成されます。

名誉会員 (Honorary Member) : ロータリーの理想推進のために賞賛に値する奉仕をした人を名誉会員に推挙することができます。二つ以上のクラブで名誉会員身分を保持できます。かかる会員の身分の存続期間は、会員となっているクラブの理事会によって決定されます。

### 職業分類の原則

ロータリー・クラブが職業分類別会員組織であるという原則は、フレデリック・シェルドンが考案しロータリーの創立者達が確立したものです。ロータリー・クラブの基本の一つでもあります。

正会員の職業分類は、クラブから借りたものです。したがって、正会員の資格を失った時には、クラブに返されます。

各クラブは、事業または専門職業が少数に偏らない均衡の取れた会員身分を有する会員構成にすることが望ましいです。5名またはそれ以上の正会員がいる職業分類からは、正会員を選出してはいけません。但し、会員数が51名以上のクラブの場合は、10%を超えない限り、その職業分類のもとに正会員を選出することができます。

## 6. 会員の特典と義務

特典 - 有形的なものではなく、人生哲学的なものである。

会員証を受け、徽章を着用できます。

入会と同時に所属クラブの会員と親交を持つことができ、日本国内はもとより世界の例会や諸会合にも出席でき、多くのロータリアン（1,227,545名の会員；2003年3月）と友情を深め、有益な助言も得られます。

ロータリー・クラブの奉仕は本来個人が主体です。そして、クラブの奉仕活動を通じて地域社会のため、世界平和のために役立つことができます。

地域社会の職業の代表として認められます。

所属クラブに対して、ロータリアンとしての確かな人を推薦できます。

### 義務

会員は、クラブ定款・細則に従い、その規定を守ること。

入会金・会費を納入すること。

クラブから何事か依頼された場合は、進んで引き受けること。

例会を始めとして各種の会合には積極的に出席し、例会出席は100%を目指すこと。例会出席の60%未満の場合は、欠席の補填「メイクアップ」をする必要があります。ただし、不測の事態により退席の場合は、理事会が妥当と認めた場合は出席扱いとなります。クラブの奉仕活動には進んで参加し、実践することによりクラブの向上発展に協力すること。

「ロータリーの友」または「The Rotarian」を必ず購読すること。

ロータリーの諸会合の時間の厳守。

## 7. 例会と出席

「入りて学び、出て奉仕せよ」という言葉があります。ロータリーの原点は、各クラブの例会にあります。

例会とは、どのようなものでしょう。

例会は、毎週一回決まった曜日・時刻に開催されます。所要時間は、概ね1時間です。まず、会長が点鐘して例会の開始を宣言します。ロータリー・ソングを斉唱し、お客様（ゲスト・ビジター）の紹介があります。会長の挨拶の後、食事をしながら友愛を深めます。その後、幹事報告・ニコニコボックス発表・出席率の発表・各委員会からの報告があります。会員もしくは招待者の卓話。ここで学びます。そして、会長の点鐘で例会を終了します。

世界中のロータリー・クラブは、必ず週に一回、一定の時間に一定の場所で定例の例会を開催することを定め、その時刻と場所は、国際ロータリーが毎年発行します公式名簿に

記載されています。従って、クラブ例会は、そのクラブの会合というだけではなく、国際ロータリーの一員としての「公式会合」といわれるのです。

例会は、奉仕の情報交換会です。自分の限られた職業生活の中では得られない、多くの異なった業種の優れた人と知り合いになり、そして、例会で学んだものを自分の家庭・職場・地域社会に持ち帰り実践するのです。

最初のうちは、ロータリーの出席の厳しさに辟易するかもしれません。そして、戸惑い不安になられるかもしれません。しかし、暫くは我慢して時間のやりくりをしてください。

そうしますと、其の内に貴方の習慣となり、無理なく例会に出席されるようになります。ロータリアンは、地域を代表する職業人の集まりです。皆さんお忙しい方ばかりですが、週に一回食事を共にし、懇談し、新しい情報の交換をし、心身をリラックスすることができます。僅か一時間の時間です。そのゆとりを自分でお作りください。とにかく習慣となるまでの辛抱です。

#### **SAA (Sergeant-at-Arms : 会場監督)**

クラブ役員の一で、例会の準備・進行・秩序維持等に周到な配慮を行って、これを監督します。すなわち例会の円滑な運営と例会を明るく楽しいものにします。クラブ年次総会後 1 週間以内に次年度理事会で会員の中から選任されます。

#### **卓話 (スピーチ)**

ロータリー・クラブの例会では、後半の 30 分は、会員あるいは然るべき講師の講話を聞くことになっています。この卓話は、ロータリアンの人作りに役立つとか、ロータリーの奉仕活動に有益なお話であることが望ましいです。特に新会員は、早い時期に入会のご挨拶として、自分を誇って貰う為に、できたら自分の経歴とか自分の職業についてのスピーチをすることが必要です (イニシエーション・スピーチ)。

#### **ニコニコ箱**

ニコニコボックスとかスマイルボックスとか呼ばれています。これは、会員の喜びごと・祝い事、あるいはチョットしくじった事に対して、会員が自発的に拠金をするもので、別に何の規定もありません。ニコニコ箱の名称の如く会員がニコニコして拠金し、集まったお金は、クラブ奉仕活動に使用します。金額につきましては、多くの方から色々の理由で何回でも入れてもらうのが、ニコニコ箱本来の姿でしょう。

#### **メイクアップ**

例会出席の重要さをお話しましたが、時には病気に罹ったり、仕事の都合でどうしても例会に出席できない場合もあります。「メイクアップ」という例会欠席を補填する制度があります。これは、欠席した例会の前後 14 日の間に、ほかのクラブの例会に出席されたり、クラブ理事会によって承認されたクラブの奉仕プロジェクトに出席することによって、欠席の補填をすることができます。

#### **出席の免除**

あらかじめ理事会の承認した条件と状況に準じた欠席の場合。

通算ロータリー歴と年齢の合計が 85 年以上に達した場合、御自分の出席免除を文書で申請し、クラブ幹事を通して、理事会が承認した場合。

## 8. 会員身分の終結

会費の納入しない時。

連続 4 回、本クラブの例会を欠席しメイクアップをしない場合。

本クラブの会計年度の前半・後半の 6 ヶ月間、メイクアップを含んだ出席率が 60%に達しない場合。または、少なくとも所属クラブへの出席率が 30%に達していない場合。

## 9. クラブの委員会とその主な活動

### クラブ奉仕委員会 Club Service Committee

クラブ奉仕の特定の分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されます。クラブ奉仕に関する事柄において、その諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこれを実施します。クラブ奉仕のなかの特定分野を担当する次の各委員会を設定します。

#### a. 出席委員会 Attendance Committee

全会員に、クラブ例会に一定の基準以上出席しなければならない出席規定を周知させ、自クラブの例会に出席できない場合は、他クラブ例会への出席をするように奨励します。

出席率が低下している場合は、会員の出席できない理由を確かめ、クラブ内に問題はないか検討します。例会での親睦を楽しみ、クラブ進展やプロジェクトの推進に全会員が必要であることを認識するべく意識を高めます。皆出席者を表彰して、出席への励みとします。クラブ例会だけでなくあらゆるロータリーの会合への出席を奨励し、出席しやすい方法を考案します。

#### b. プログラム委員会 Program Committee

クラブ例会や特別会合のためにプログラムを計画し、準備、手配します。プログラムは理事会や各委員会の計画が円滑に実行されるように考案され、またバランスのとれたものとなります。従って 4 大奉仕委員長および理事と共に、一年間のプログラム計画を立て、ロータリー活動の各部門にそれぞれ何回の例会を割り当てるかを決めるといったことが重要です。クラブがプログラムを通じて、如何なる効果を上げているかを検討します。

#### c. 親睦活動委員会 Fellowship Activities Committee

会員間の知り合いと友誼を深め、計画されたロータリーのレクリエーションおよび社交的諸活動への参加を会員に奨励します。

#### c'. ロータリー家族委員会 Rotary Family Committee

#### d. クラブ会報委員会 Club Bulletin Committee

クラブ週報の刊行によって、関心を促し出席向上・親睦増進・ロータリー教育あわせて正確な記録を保存することです。前回の重要事項を報告し、次回例会のプログラム・近づ

くプロジェクトの推進を発表。それらの情報によって親睦を増進し、また、国内は勿論、国際ロータリーのプログラムについて、そして世界各地のロータリー・プログラムに関するニュース等を伝えるべく努力しなくてはなりません。

#### **e. 雑誌委員会 Magazine Committee**

国際ロータリーの機関雑誌に対する読者の関心を喚起します。例会においては毎月雑誌の簡単な紹介、ロータリアン以外の卓話者へ雑誌を贈呈、図書館・学校・病院・その他の図書閲覧室のための特別購読の取り計らい、その他あらゆる方法によって雑誌を地域社会の人々に役立つようにします。

#### **f. 広報委員会 Public Relations Committee**

ロータリーの歴史・綱領および組織・活動に関する情報を提供し、自クラブのために適切な宣伝を行う方策を考案し、これを実施します。ロータリーの目的と業績を広く一般世間に知らせ、ロータリーに対する社会の認識・理解・支援を育成し（外部広報）、会員への広報は新会員の教化にも役立ち認識を深め活動意欲を向上させることです。（内部広報）

#### **g. ロータリー情報委員会 Rotary Information Committee**

全会員に対してロータリーについてあらゆる知識と理解を広げるよう、適切なロータリーの考え方を伝えることが必要です。クラブの情報委員会は、特に新会員がロータリーを正しく理解し、ロータリー会員の特典と義務を了解することに対して強力に援助しなくてはなりません。

1996年6月のRI理事会決定で、ロータリー情報委員会は、入会してから最初の一年間は、新会員のオリエンテーションを監督することになりました。さらに情報委員会は、幅広く調整責務をもつうえ、クラブ全員にロータリー情報を絶えず伝達すべき責任があります。情報委員には、可能な限り最高の適任者を任命することが強く要請されています。

#### **h. 職業分類委員会 Classifications Committee**

毎年遅くとも8月31日以前に、その地域社会の職業分類調査を行い、その調査から職業分類の原則を適用し、職業分類表を作成します。また、必要な場合はクラブ現会員の職業分類を再検討するなど、あらゆる職業分類の問題について理事会と協議します。

#### **i. 会員増強委員会 Membership Development Committee**

自クラブの充填未充填職業分類表を絶えず検討し、未充填の職業分類を充填するために適当な人物の氏名を理事会に推薦するようクラブ会員に積極的に働きかけねばなりません。

#### **j. 会員選考委員会 Membership Committee**

会員に推薦された総ての者を個人的な面から検討して、その人格、職業上および社会的地位並びに一般的な適格性（良い世評・真面目さ・寛容性）を徹底的に調査します。そして、すべての申し込みに対する委員会の決定を理事会に報告します。

#### **職業奉仕委員会 Vocational Service Committee**

クラブとして職場の生活環境基準を高めるプロジェクト、働く人の可能性を開花させるよう力を貸すプロジェクト、あらゆる有用な職業の価値を高めるプロジェクトを次のよう

な委員会を置くことによって実践します。

就職相談・職業指導・職業情報・職業活動表彰・ロータリーボランティア

### **社会奉仕委員会 Community Service Committee**

地元地域社会およびその地域社会の人々に対する思いやりや援助の気持ちを形に表すうえで役立つ指導と援助する方法を考案し、これを実施する。次のような委員会を設置することを奨励します。

環境保全委員会：地域の環境の質を調査、改善するように心を配る

地域発展委員会：地域の施設の現状を改善することによって住みやすい場所を築くように心を配る...交通安全・文化事業・施設改善

人間尊重委員会：援助を必要としている人々に力を貸し、支援することによって皆が幸福に暮らせるように心を配る...高齢者に対する思いやり・献血・青少年教育・心身障害者

協同奉仕委員会：ロータリー提唱の団体との関係を強化し、その奉仕活動に協力することに心を配る...ローターアクト・インターアクト

### **国際奉仕委員会 International Service Committee**

ロータリアンが、国際理解・親善・平和を推進するための国際奉仕活動に役立つ指導と援助をする方策を考案し、実行します。

また、次のような委員会を置いて活動およびプロジェクトに協力します。

世界社会奉仕・青少年交換

#### **a. ロータリー財団委員会**

#### **b. 米山記念奨学委員会**

### **新世代奉仕委員会 New Generations Committee**

1923年セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕活動が討議されております。当初は、社会奉仕委員会の青少年社会奉仕小委員会として発足しました。現在は、社会奉仕の人間尊重・協同奉仕や職業奉仕・国際奉仕とも重なり奉仕活動分野は広範囲に及んでいます。

1996-97年度より「新世代のためのロータリー・プログラム」と改称されました。新世代のための会議・青少年指導者養成プログラム(RYLA: Rotary Youth Leadership Awards) 職業相談指導・ロータリー地域社会共同隊・身体障害児の援助・各種野外活動等を通して才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としています。

**インターアクト・クラブ (Interact Club)**: 奉仕と国際理解に貢献する、世界的友好精神の中に相互に活動する機会を青少年に与えるために1962年より結成された、ロータリー・クラブ提唱の世界的団体です。高校に在学中の生徒、または14-18歳までの青少年が会員です。国際活動(International Action)からInteractは名付けられました。

11月5日を含む週を「世界インターアクト週間」といいます。

**ローターアクト・クラブ (Rotaract Club)**: ロータリー・クラブ提唱の 18-30 歳までの青年男女によって構成される世界的団体です。1968 年に発足しました。青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的ニーズに取り組み、親睦と奉仕生活を通して全世界の人々の間に、よりよい信頼関係を推進するための機会を提供することを目的とします。

3 月 13 日を含む週を「世界ローターアクト週間」といいます。

「奉仕を通じての親睦 (Fellowship Through Service)」が、ローターアクト・クラブの公式標語に 1978 年に採択されました。

**青少年指導者養成プログラム (RYLA : Rotary Youth Leadership Awards)**: このプログラムは、オーストラリアで誕生し、青少年の指導教育に素晴らしい効果が認められ、1971 年に国際ロータリー (RI) が正式に採用しました。

このプログラムの目的は、

青少年に対するロータリーの敬意と関心を具体的に示す

選ばれた青少年指導者および指導者の素質を持ったものに、訓練の経験をつませ、その資質の発展と向上を奨励し援助する。

青少年の指導者として、地域社会に奉仕している優れた資質を持つ青少年に社会的敬意を表す。

以上、ロータリー・クラブでは、奉仕活動を活発に行うため、四大奉仕部門のクラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕の委員長はそれぞれの担当の理事が当たり、クラブ奉仕は通常会長エレクトまたは副会長があたります。そして、四大奉仕部門には先ほど述べました各委員会があります。(以上の委員会は、クラブ事情によって異なることがあります) このようにクラブには、いろいろな委員会があります。会員は必ず何かの委員会に所属します。

新会員は大体親睦活動委員会に配属されることが多いのですが、親睦活動委員会は、会員間の知り合いと友誼の増進のほかに、例会でのメイクアップされた方のお世話の役目もあります。これは、ロータリーの発足の原点でもある親睦を広めるようにとの配慮からです。新会員は、例会定刻より早く会場に来て、親睦委員長と共に例会場の受付で、来訪者を笑顔で迎えることから始めていただきたいと思います。そうすることによって、クラブ会員との親睦や、未知の他のクラブ会員との友好が広がります。

## 10. ロータリー・クラブの構成と主な行事・会合

### a. ロータリー・クラブ (Rotary club)

#### クラブ例会 (Club Regular Meeting)

ロータリー・クラブの定款・細則の基づき、クラブが行う週一回のロータリーで最も重要な会合です。例会は親睦と奉仕の出発点です。

#### クラブ理事会 (Club Board Directors)

クラブ運営の最終決定機関です。年次総会にて選挙されます。毎月一回の定例理事会を開催します。その結果は例会にてクラブ会員に報告されます。

#### **クラブ委員会 (Club Committees)**

会員は何れかの委員会に所属します。各委員会は奉仕活動について調査・研究・企画を行い、委員長はその結果を理事会に報告ししょうにんを得てから実行します。

#### **クラブ協議会 (Club Assemblies)**

クラブのプログラム活動について協議するため、クラブ役員・理事・各委員会委員長の会合です。1. 地区協議会直後...会長エレクト主催 2. 7月1日直後...年度計画について話し合う 3. 公式訪問の2週間前...ガバナー補佐とクラブ現況を話し合う 4. ロータリー年度半ば...目標の進捗状況と年度後半のクラブ・プログラムの決定 5. 地区大会の後...クラブ計画を完了させるためのアイデアや提案について話し合う (2003年2月RI理事会)

#### **クラブ討論会 (Club Forum)**

プログラムやクラブ活動などロータリー全般について会員に情報伝達とより良い奉仕活動のための意見交換を目的としたクラブ全会員参加の公式な会合です。少なくとも四大奉仕部門について年4回は討論します。

#### **クラブ年次総会 (Club Annual Meeting)**

毎年12月31日までに開催し、次々期会長を含める次期理事・役員を選挙します。

#### **ガバナー公式訪問 (Governor Official Visit)**

年度前半に地区ガバナーが年に一回その地区のクラブを公式に訪問すること。会長・会長エレクト・幹事との懇談および例会に出席して、ロータリーの総合的スピーチをして、感銘を与え、ロータリー情報を提供しクラブが報告した現況および及び活動状況について適切な指示・助言を与え、ロータリー発展に寄与することが目的です。

#### **家庭集会 (Informal Discussion Meeting)**

新会員の同化・および会員間の親睦と情報交換、そしてロータリーを推進するために会員の自宅その他に少人数が集まって和やかに自由討論する会合。特別会合の一つで1989年までは「炉辺会合」の名で親しまれていたが、1990年より「家庭集会」と改称されました。

### **b. 分区 (Groupings of Clubs)**

#### **インターシティ・ミーティング (Intercity Meeting) 略称 IM**

毎年一回分区内のクラブ合同にて四大奉仕部門にわたる、奉仕の理想を勉強する会合です。会員相互の面識を広め・親睦を広め、ロータリー情報を伝えることを目的とし、全会員参加の会とします。

### **c. 地区 (District)**

#### **会長エレクト研修セミナー (Club Presidents-Elect Training Seminars) 略称 PETS**

地区ガバナー・エレクトが、地区ガバナーと協力して計画・準備し、クラブ会長エレクトのための研修・教育プログラムで、国際協議会開催後一ヶ月以内に開催されます。

#### **地区協議会 (District Assembly)**

地区ガバナー・エレクトが、地区ガバナーと協力して計画・準備して開催します。次年度クラブ会長・幹事を中心に次年度にクラブを運営する主な会員に参加していただき、クラブ内外の奉仕活動全般やクラブ管理業務を協議します。開催は、3月1日から7月1日の期間です。

#### **地区大会 ( District Conference )**

地区年次大会は、地区におけます最大の行事です。地区大会には必ず RI 会長代理が出席します。この大会は、地区内会員および家族のために、交歓と感銘深い講演と地区内クラブおよび RI 全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進することを目的とします。したがって、クラブから多数参加すれば、その年度の活動を活発にし、クラブの強化に役立ちます。地区大会は、旧交を温め、新しい友人を作る絶好の機会です。この地区大会で地区ガバナー・ノミニーが選出されます。

#### **d. 国際ロータリー ( Rotary International )**

##### **国際協議会 ( International Assembly )**

ガバナー・エレクトのロータリー教育・運営上の指導・ロータリー精神を鼓舞激励し、次年度のプログラムや活動の実施方法を討議・計画することを目的としています。毎年2月15日までに開催されます。

##### **規定審議会 ( Council on Legislation )**

国際ロータリーの立法機関で、3年に一度4月から6月の間に、国際ロータリー世界本部の近郊において開催されます。

審議委員は、各地区で一名の代議員が選ばれて出席します。規定審議会では、提案された制定案（定款細則の改定に関するもの）および決議案（その他のもの）を審議されます。

##### **国際大会 ( Convention )**

4月から6月頃開催されます。ロータリー一家の世界的会合であり、国際大会の本来の目的を減じない範囲で、社交・余興・親睦の行事も行われます。

### **11. 奉仕の機会: ニーズに応えるには (ロータリー財団・米山奨学記念財団)**

#### **ロータリー財団**

非営利財団で、国際ロータリー第6代会長のアーチ・クランフの提唱で1917年に基金として発足、1928年の国際大会で「ロータリー財団」と名づけられました。

目標は、博愛・慈善・教育または人道的という特質をもつ明確かつ効果的なプログラムの促進を通して、さまざまな国の国民の間に理解と友好的関係を助長することにあります。

使命は、地域・全国・世界レベルの人道的・教育的・文化交流プログラムを通して、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。

シェア・システムによって地区の一般寄付の50%が地区財団活動資金となります。(2003-2004年度)

### (財)米山奨学記念奨学会

東京ロータリー・クラブが戦後のアジア民族の融和に役立てる目的で、奨学金を支給するための基金を設定し、東京ロータリー・クラブの創立者米山梅吉翁の功績を記念する意味で、米山基金と名づけたのに始まります。(1953年)米山基金を拡大し、広く公開し他のロータリー・クラブの参加を求め、共同事業として全国に推進され、1957年ロータリー米山奨学委員会が結成されました。当時、「日に煙草一箱を節約して」という合言葉によって、会員一人当たり月額50円の寄付が勧誘され、各クラブの協力が活発になり、募金活動が飛躍的に発展していきました。1960年「ロータリー米山記念奨学会」と名称変更され、数年後には、3000万円を越す余剰金を残すに至り、1967年文部省から設立認可が下りて、基金3000万円の「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が発足しました。

在日留学生の誇りともなり、「世話クラブ」と称するロータリー・クラブに配属し、その会員の中から「米山カウンセラー」を委嘱して、個人的に奨学生の世話に当たる制度が、留学生にとって大きな魅力となっています。

## 12. ロータリーの特別月間と特別週間

7月：識字率向上月間

8月：会員増強拡大月間

9月：新世代のための月間

10月：職業奉仕月間・米山月間

11月：ロータリー財団月間

世界インターアクト週間(11月5日を含む週)

12月：家族月間

1月：ロータリー理解推進月間

追悼記念週間(1月27日を含む週)

2月：世界理解月間

世界理解と平和週間(2月23日を含む週)

3月：国際大会の特別推進月間

世界ローターアクト週間(3月13日を含む週)

4月：ロータリー雑誌月間

6月：ロータリー親睦活動月間

### 13. ロータリアンの守るべき道

約束の時間は守りましょう。

例会に欠席する場合は、連絡をしましょう。そして、欠席の補填を必ずしましょう。

例会場では、他クラブからのビジター・ゲストの方々に、親睦活動委員会だけに任せず全員が温かく迎え、友愛に心がけましょう。

卓話中は、私語を慎み、居眠りをやめましょう。

各種出欠の返事・アンケートの回答は、迅速に答えましょう。

会費の支払いその他、守るべき期日は必ず守りましょう。

服装は清潔にし、他の会員に不快の念を与えぬようにしましょう。

ロータリーの会合には、ロータリーの襟章を付けましょう。

何処であってもロータリアン同志は、快く会釈し親睦に努めましょう。

例会所要時間に 60%出席すれば一応出席とみなされますが、よほどの理由のない限り、閉会の点鐘まで在席しましょう。

良いこと・不幸なこと・何かにつけて仲間の会員に、真心で接しあい、慰めあい心から援助しましょう。

分からないことは、何でも会員に聞きましょう。尋ねられたら誠意を持って答えましょう。

「四つのテスト」を実践しましょう。

ロータリー活動は、善意から出発します。一人ひとり善意の奉仕を実践しましょう。

### 14. 決議 23-34 について

手続要覧の社会奉仕の章に「社会奉仕に関する 1923 年の声明」として詳細に記載されています。決議 23-34 の本文は、ロータリーのバックボーンとも言うべき重要な決議です。

『ロータリーは、基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情の間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕 - 「超我の奉仕」 - の哲学であり「最も奉仕するもの。最も多く報われる」という実践倫理の原理に基づくものである。』この決議の前文に記載されたロータリーの人生哲学と実践倫理は最も大切なものです。何人もこれを書き換えることの出来ないほどの名言であり、ロータリーの精神基盤です。

単に社会奉仕のみではなく、ロータリーの奉仕活動のあり方・基本を示したものとしてロータリー活動実践の拠り所として熟知しなければならないものとされています。

## 15. ロータリー・クラブへの入会のお勧め:ロータリアンの幸福

人を幸せにすることで、自分も幸せになる。  
良いことをする機会があり、とても気持ちが良い。  
親切にすると感謝され、自分も嬉しい。  
笑顔が身につく、人相が良くなる。  
人から好かれる性格になる。  
リーダーシップが豊かになる。  
スピーチも上手になり、人前で話すことに習熟する。  
知識も広まり、人格が円満になる。  
礼儀正しく、時間を守るようになる。  
ロータリーの会合では、心が癒される。そして、長生き出来るようになる。  
良い友人がたくさん出来る。  
ロータリアン同士は信じあえる。  
尊敬できる人との出会いがある。  
困った時に相談できる友人が出来る。  
国際感覚が身につく。  
家族同士の交流も広がる。  
事業がうまくいき、生きがいも見つかる。  
寛容の心を持ち、人を許すことが出来るようになる。思いやりの深い人となる。  
最後には、自分が幸福であることを悟る。

### 参考文献

手続要覧・ロータリーの友・ロータリー入門書：前原勝樹著・ロータリー情報集：熊本グリーン・ロータリー・クラブ編